

第7回ふれあい祭が開かれましたー3 子供たちとの貴重な体験ができました

柿沼 聖 (NI-Youth)

私は去年、今年と2年連続でふれあい祭りに参加させていただきました。この2回のふれあい祭りでの活動を通して、とても貴重な体験をすることができたと感じています。それは普段関わりを持つことのない人との交流をすることができたことです。

ふれあい祭りは外国人の参加を特徴とするのはもちろん、谷津干潟周辺に暮らす小さな子供たちもたくさん参加してもらえる機会です。実際に、去年今年とNI-ユースのブースにはたくさんの子供たちが興味を示してくれ、また素敵な笑顔を私たちに見せてくれました。

私は普段、ふれあい祭りにやってくるような子供たちと触れ合う機会を持っていません。兄弟もなく、親戚でも一番年下である私にとっては、どのように子供たちと触れ合えばいいのかは全く未知の世界でした。

しかし、ふれあい祭りに参加することを通して、どのように工夫をすれば子供たちに喜んでもらえるのか、また同時に親御さんたちにも安心してもらえるようなものにするにはどうすればいいのかを、毎週の企画会の中で考えることになりました。それは私だけでなく、私とほぼ同年代であり、普段留学生の人たちを対象に国際交流についての企画を考えているユースのメンバーにとっても新鮮で刺激的な体験になったと思います。

今回、私たちはブースで子供たちと凧作りとカルタ取りを行いました。特にカルタ取りは以前にユースのイベントでも行っています。楽しそうに読み手の声に耳を傾ける子供たちの様子を見ると、子供たちも私たちも留学生の人たちも、楽しいという気持ちは一緒

であると感じました。もちろん今回全てが成功だったわけではなく、もう少し改善したほうがいいと感じる点も多々ありました。それを今後に生かすことが大切であると感じています。

今回私たちにたくさんの手助けをしてくださった、またこのような機会をユースに設けてくださったNIAの方々に感謝すると共に、来年のふれあい祭りにも参加することができればと思います。



子供たちとカルタ取りで遊ぶ



パネルでNI-Youthの活動をアピール